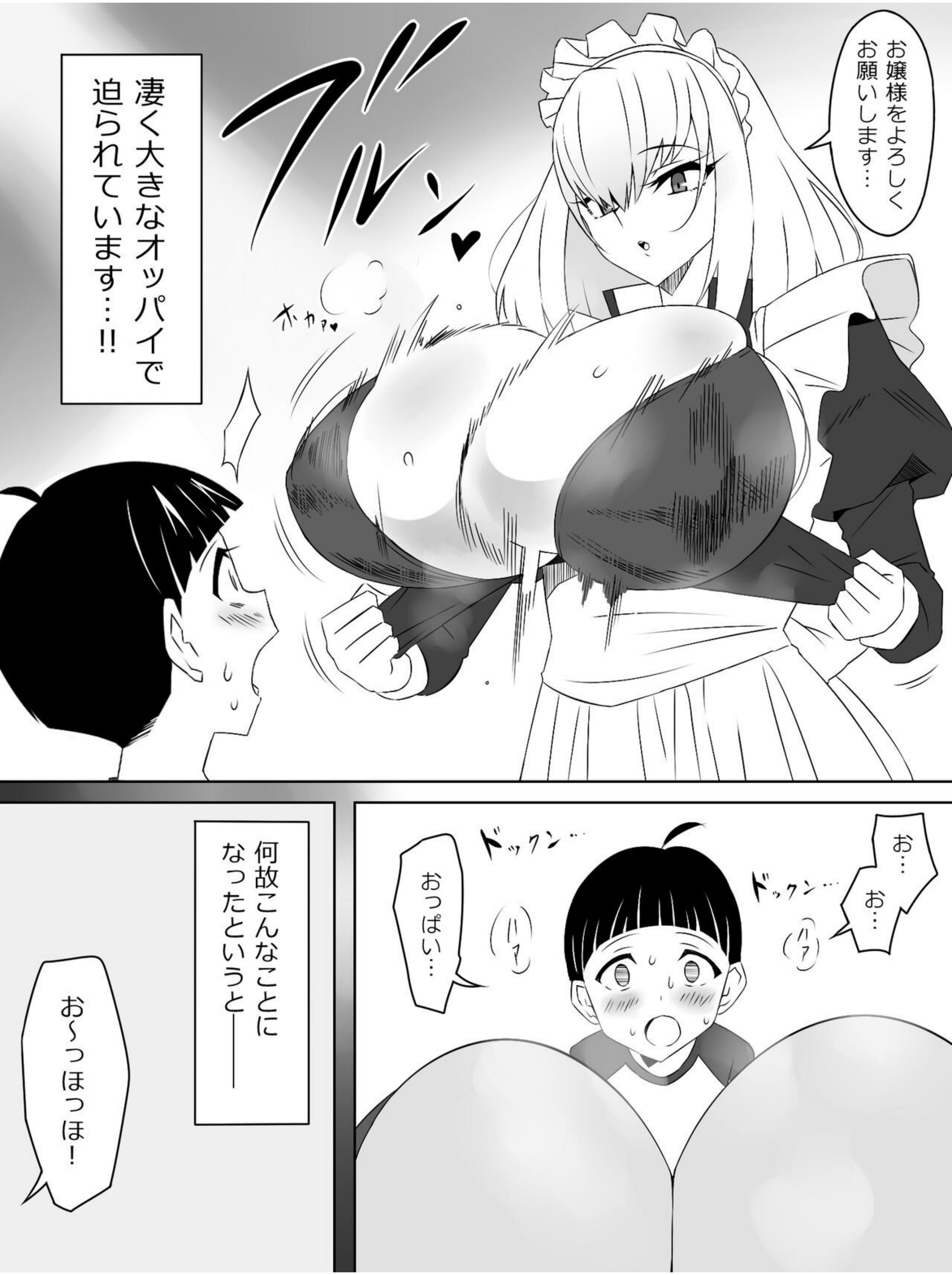
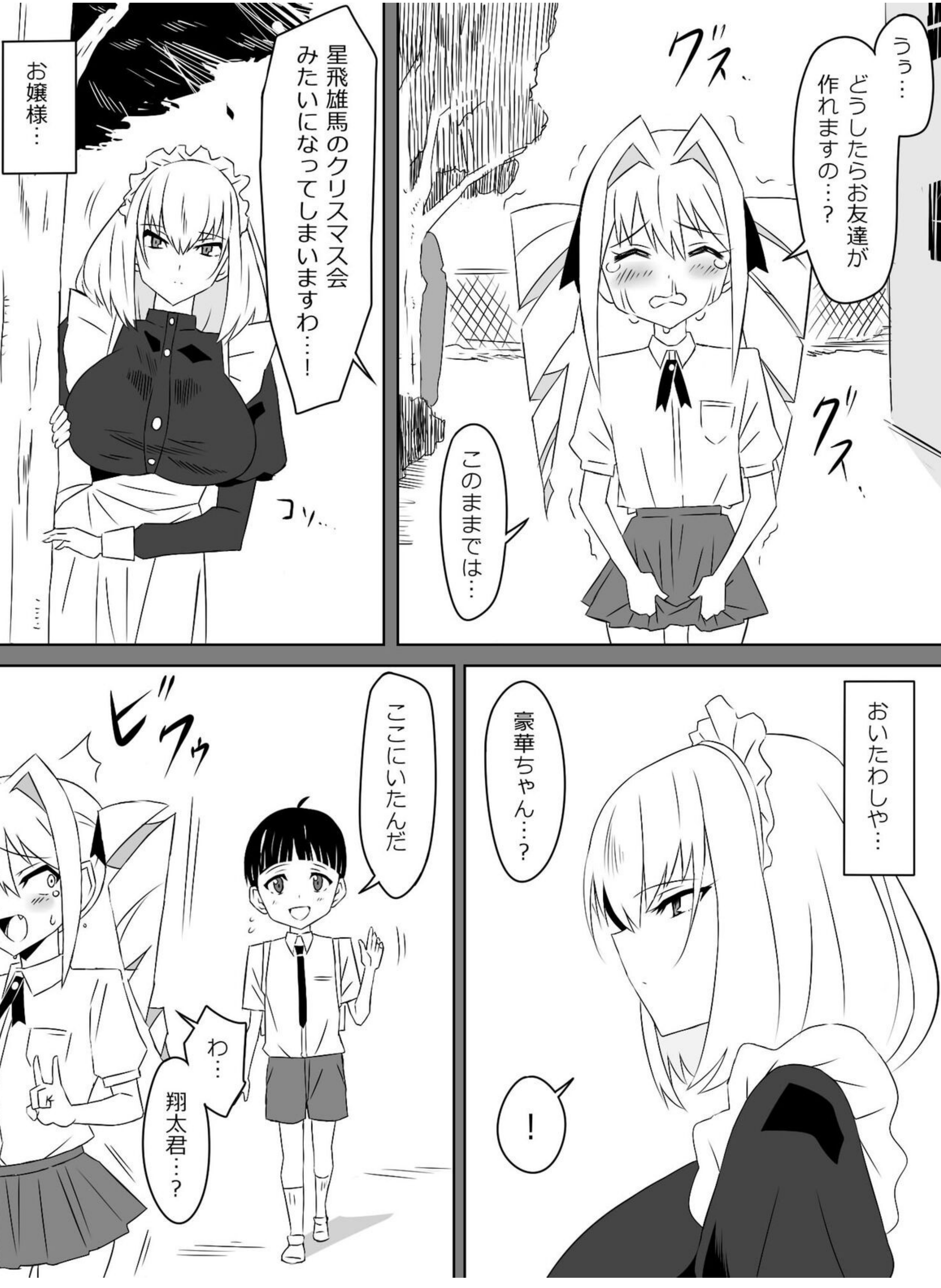
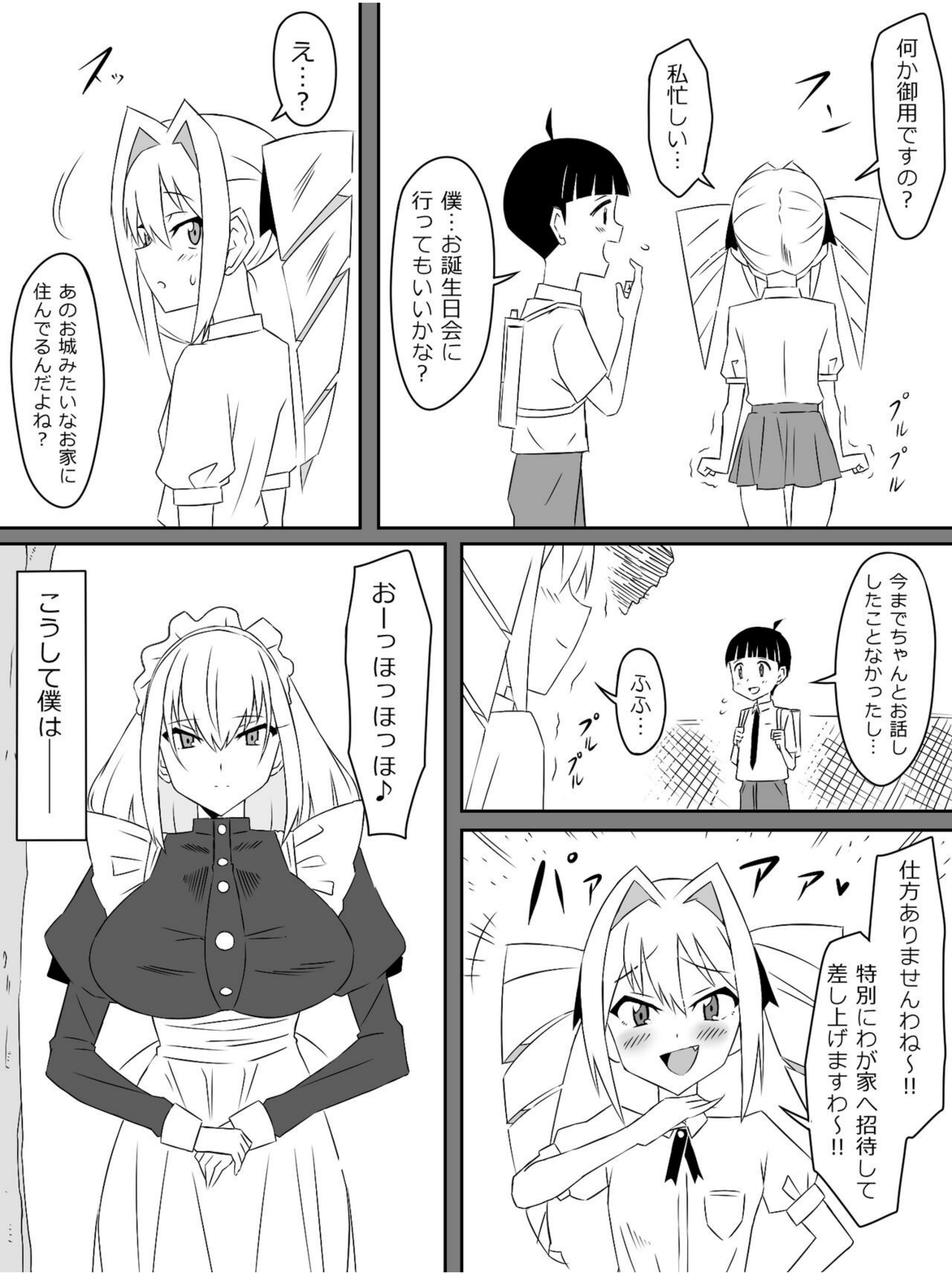
ゴゴゴ
翔太様…
ゴゴゴ
僕は今…
ゆ…
雪姫さん…?
ハァハァ
ドキドキ
友達の家で
メイドさんに——
ぎゅっ…
ゴゴ
どうか
これからも…
プチ
プチ
ブルン…

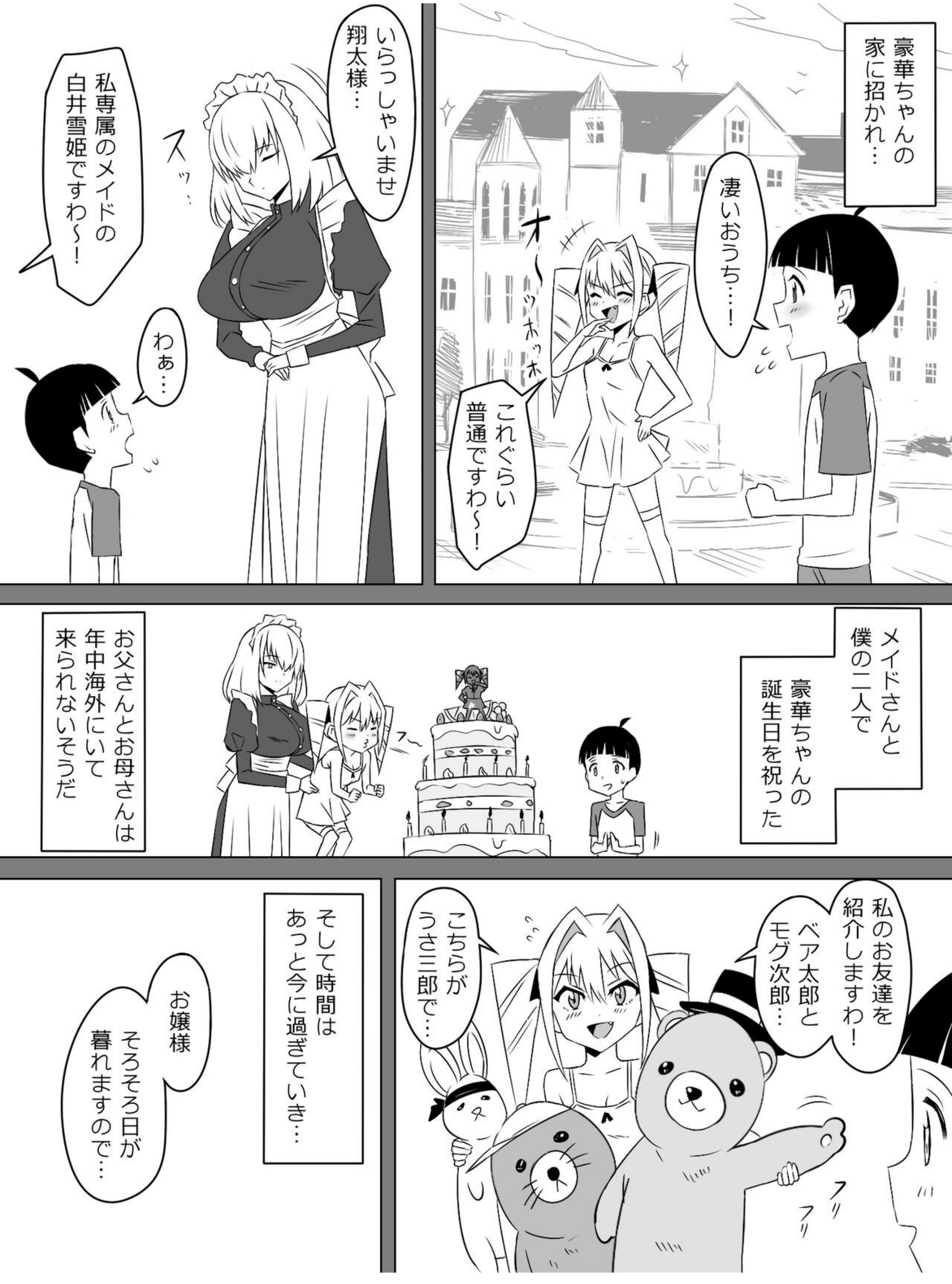

お嬢様をよろしくお願いします…
ブルン
ホカァ
凄く大きなオッパイで迫られています…!!
お…お…
ドックン…
ドックン…
ハァ
ハァ
おっぱい…
何故こんなことになったというと——
お～っほっほ！

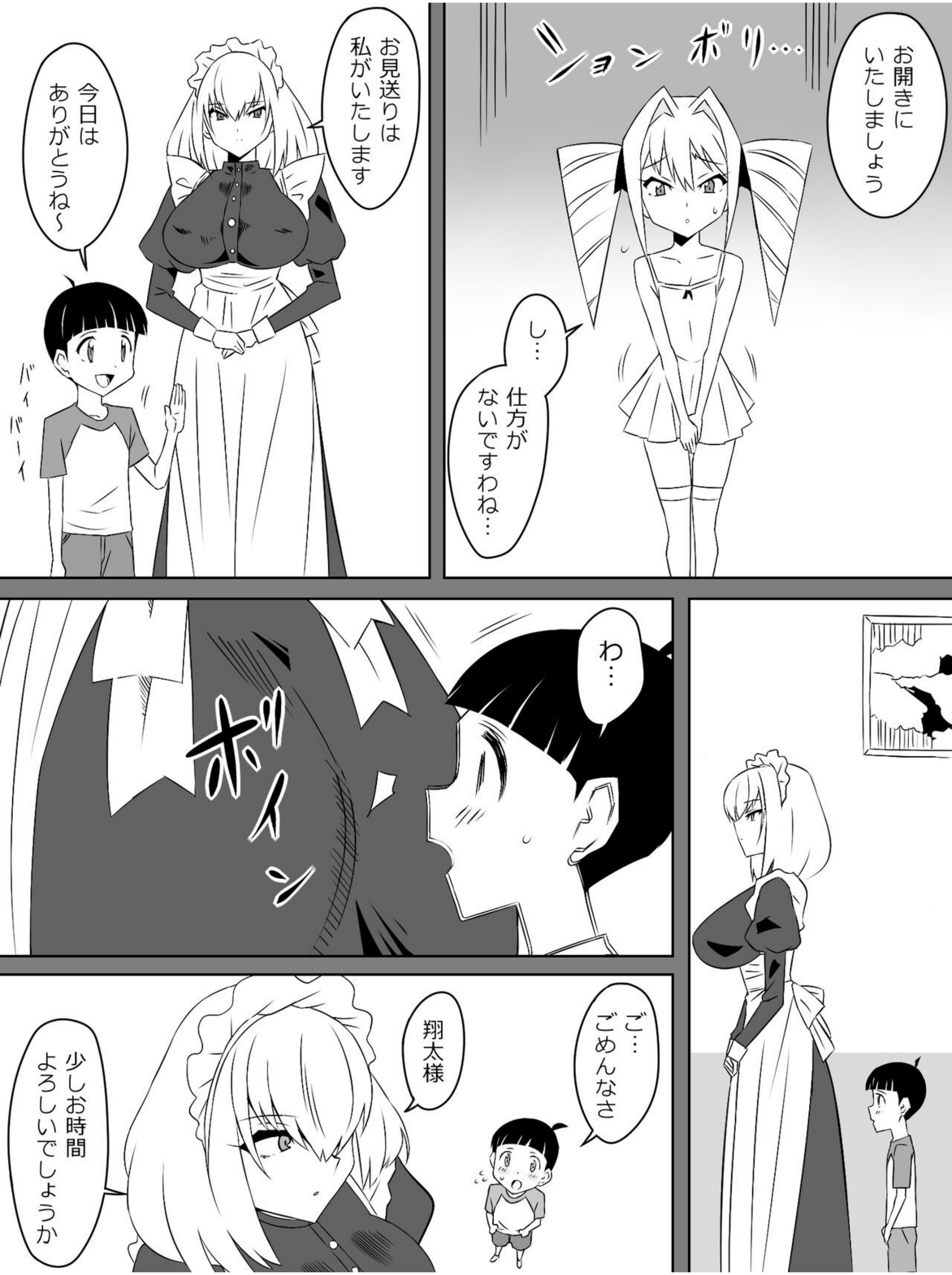
クラスの皆さま…!!
今度の日曜に
私のおうちへ
遊びに来ませんこと～?
オ
ホ
ホ
ホ
もちがね　ごうか
餅金　豪華
私のお誕生日パーティを
開きますので
お庶民の皆さまを
特別に招待して
差し上げますわ!
キャビアやふかひれも
食べ放題ですわよ
お～っほっほ!!
ホッホッホ
オ～ッ
私はいい…
え…?

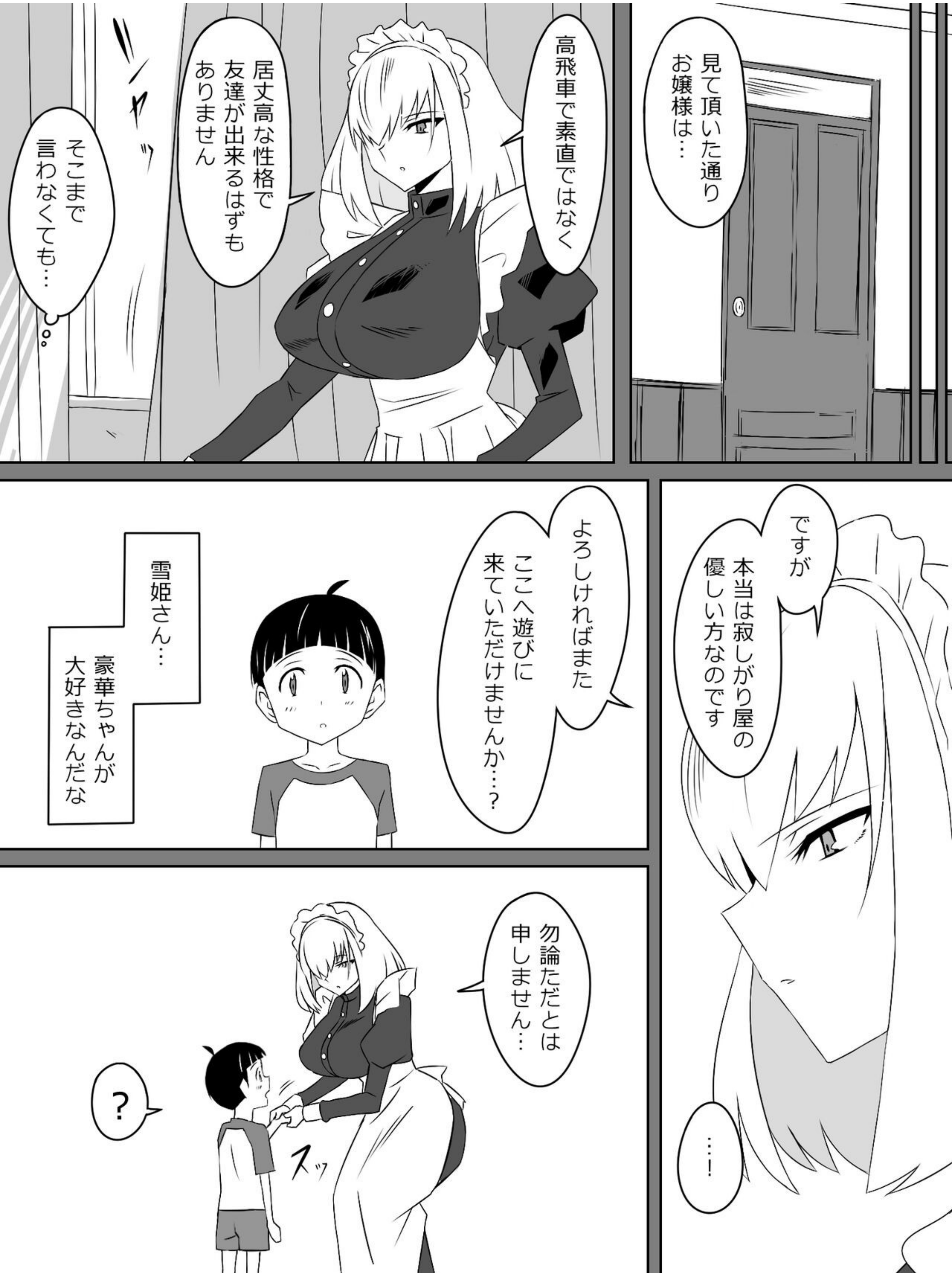
い…今なんと
申しまして…？
キッパリ
豪華ちゃん
いつも自慢話するから
行きたくない
僕も塾があるし
いいや～
ズバ
ズバ
俺も家で
ゲームしたいし
あら…？
あらら…？
ズバ
キャビアとか
よく分かんない
ふ…ふ～ん
せっかく誘って
あげましたのに！
オ～ッホッホホ
バッ
あとで後悔なさっても
知りませんわよ～！
おれんちで
スマブラしようぜ
いいね～
……
ぐす…
ぐす…


うぅ…どうしたらお友達が作れますの…？
グズ…
グズ…
このままでは…
星飛雄馬のクリスマス会みたいになってしまいますわ…！
コツ…
お嬢様…
おいたわしや…
豪華ちゃん…？
！
ここにいたんだ
ビクゥ
わ…翔太君…？


何か御用ですの？
フン
私忙しい…
僕…お誕生日会に行ってもいいかな？
プルプル
え…？
ズッ
あのお城みたいなお家に住んでるんだよね？
今までちゃんとお話ししたことなかったし…
ふふ…
プルプル
パァァ
仕方ありませんわね～!!
特別にわが家へ招待して差し上げますわ～!!
おーっほっほっほ♪
こうして僕は――


豪華ちゃんの家に招かれ…
凄いおうち…!
オ〜ッホッホッ
これぐらい普通ですわ〜!
いらっしゃいませ翔太様…
スッ
私専属のメイドの白井雪姫ですわ〜!
わぁ…
メイドさんと僕の二人で豪華ちゃんの誕生日を祝った
フ〜
お父さんとお母さんは年中海外にいて来られないそうだ
私のお友達を紹介しますわ!
ベア太郎とモグ次郎…
こちらがうさ三郎で…
フリ
フリ
そして時間はあっと今に過ぎていき…
お嬢様そろそろ日が暮れますので…


ションボリ…
お開きにいたしましょう
し…仕方がないですわね…
お見送りは私がいたします
今日はありがとうね～
バイバーイ
わ…
ボイン
ご…ごめんなさ
翔太様
少しお時間よろしいでしょうか


見て頂いた通り
お嬢様は…
高飛車で素直ではなく
居丈高な性格で
友達が出来るはずもありません
そこまで言わなくても…
ですが
本当は寂しがり屋の
優しい方なのです
…！
よろしければまた
ここへ遊びに来ていただけませんか…？
雪姫さん…
豪華ちゃんが大好きなんだな
勿論ただとは申しません…
？
スッ

スッ…
ムニュ♥
ポカン…
え…
ええ…!?
ビクゥウッ
お…
おっぱい…!?
ムニュ…♥
ビクッ
うっ!

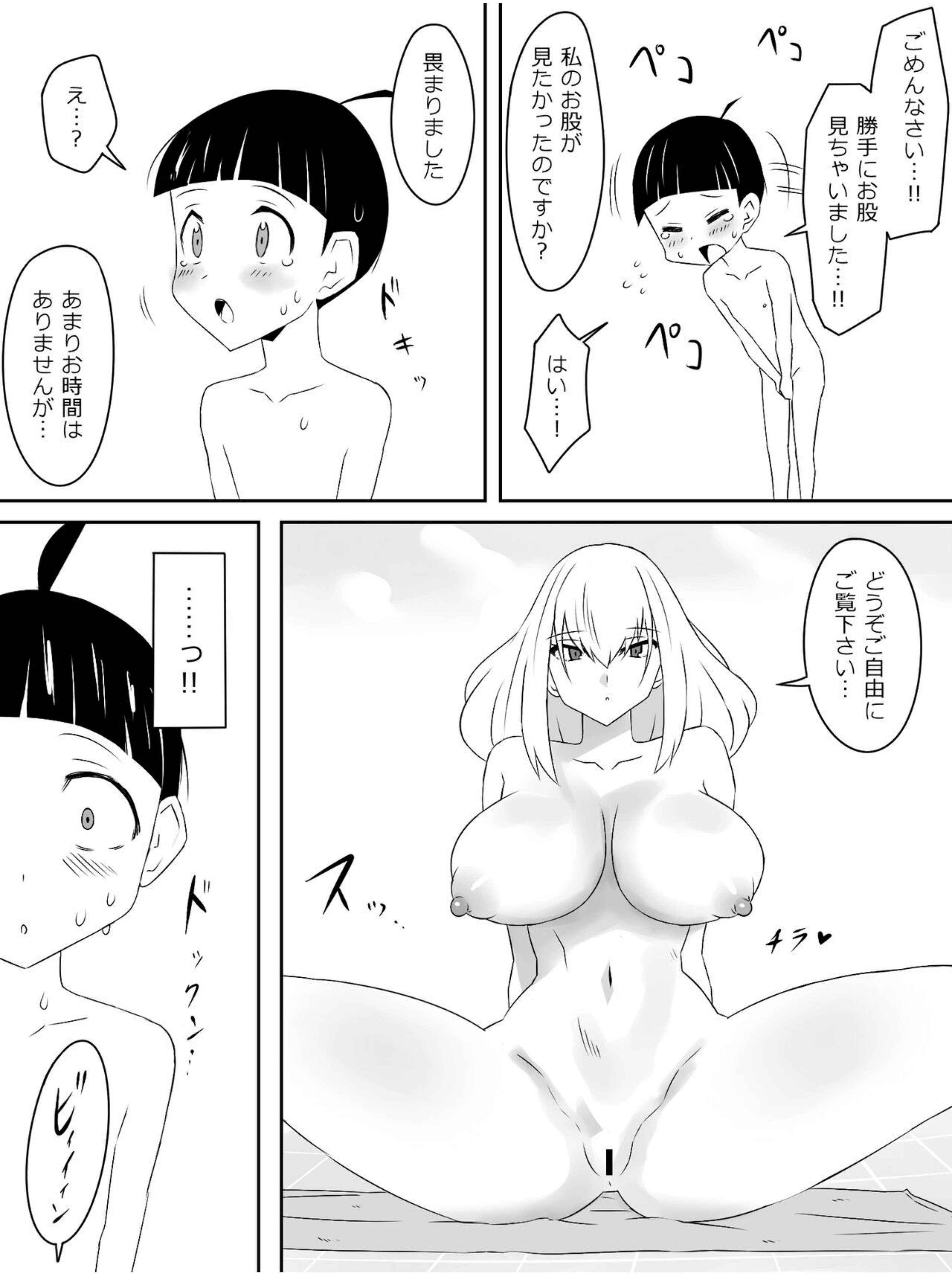
ちんちんが
なんか痛い…！
なんでこんなに
固くなってるの…!?
タプン…♥
ドキドキ♥
もし私の願いを聞いてくださるのなら…
これ
ブルン♥
あ…！
あぁ…！
ビク
好きにして構いませんよ
ゴクリ…
ゾクゾク
そして
現在に至るのでした…
ちらちらと胸を見ていらしたので
興味がおありなのでしょう…？
ムチ♥
プルン♥
ムワ…♥

ハァ
ハァ
ハァ
凄い大きなおっぱい…！
触りたい…！
でもエッチなことって悪い事なんじゃ…？
他のメイドから男性は一般的に…
大きな乳房を好むと聞いたのですが
プチ…
お気に召しませんか…？
たぷん♥
ちく…っ
乳首!!

雪姫さん!!
雪姫さん…!!
じゅるるる…♥
じ〜
綺麗なピンク色が
僕の目に飛び込んだ瞬間
じゅるるぅ〜♥
チュパ♥
僕の頭は真っ白になり
夢中でオッパイに吸い付いていた
ビク
ビクン
じ〜
綺麗なお姉さんの
大きなオッパイ…!!
チュポン♥
ハァ
ハァ
美味しい…!!
幸せ…!!
レロ
レロ♥

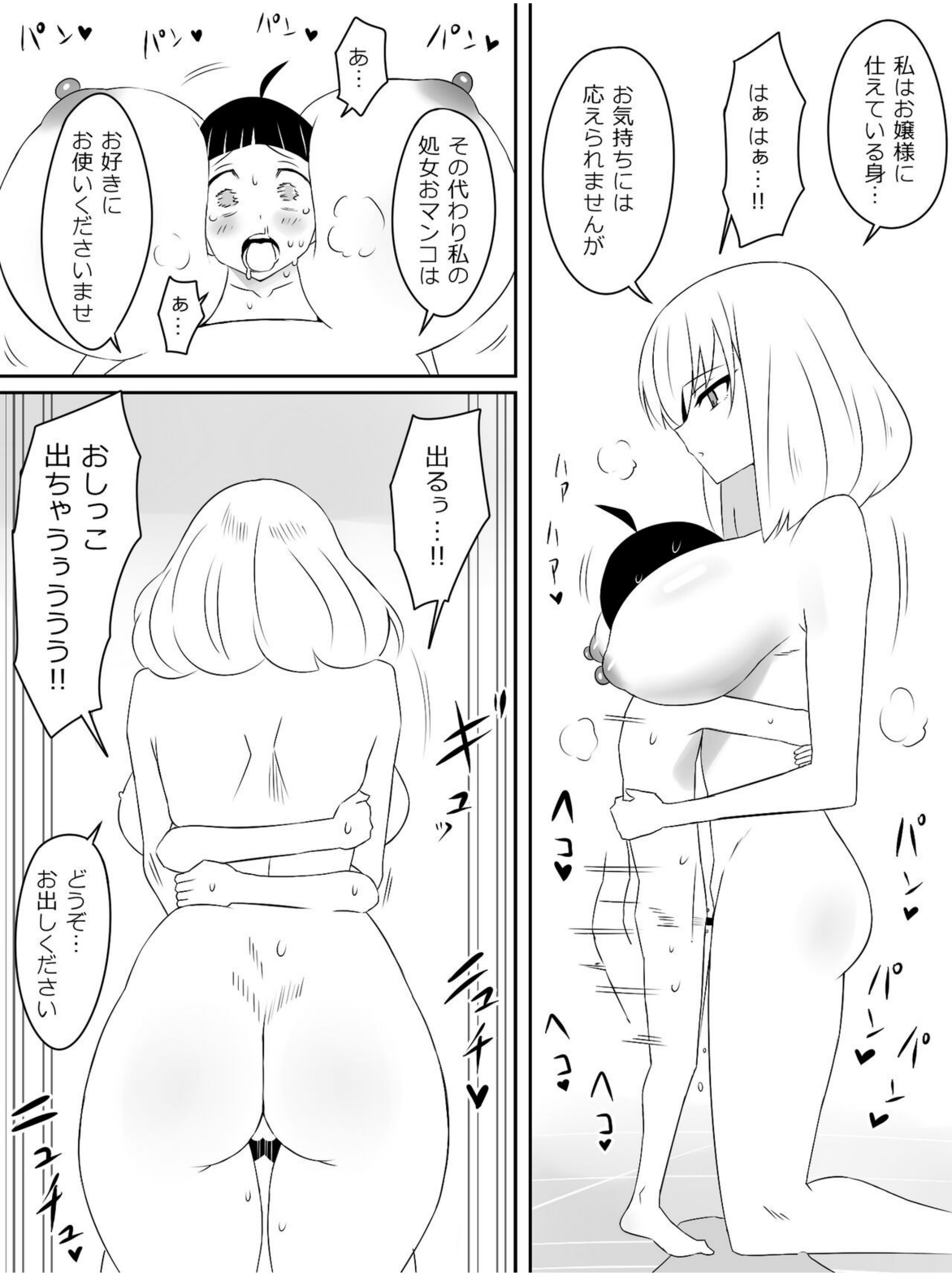
翔太さま
そろそろお時間が…
ドキッ
ムニュ♥
ムニュウ♥
え…？
既に一時間ほど過ぎておりますので
スッ…
もうそんなに経ってたんだ…
わっ
カポーン
ふう…
汚れた下着をクリーニングいたします
その間は浴室でお寛ぎを…
雪姫さんの前で漏らしちゃった…
カァ…
ゴッ
ゴッ
おしっこも白くてねばねばしてたし
僕って病気なのかな…？
お背中お流しいたします
はい…
え…

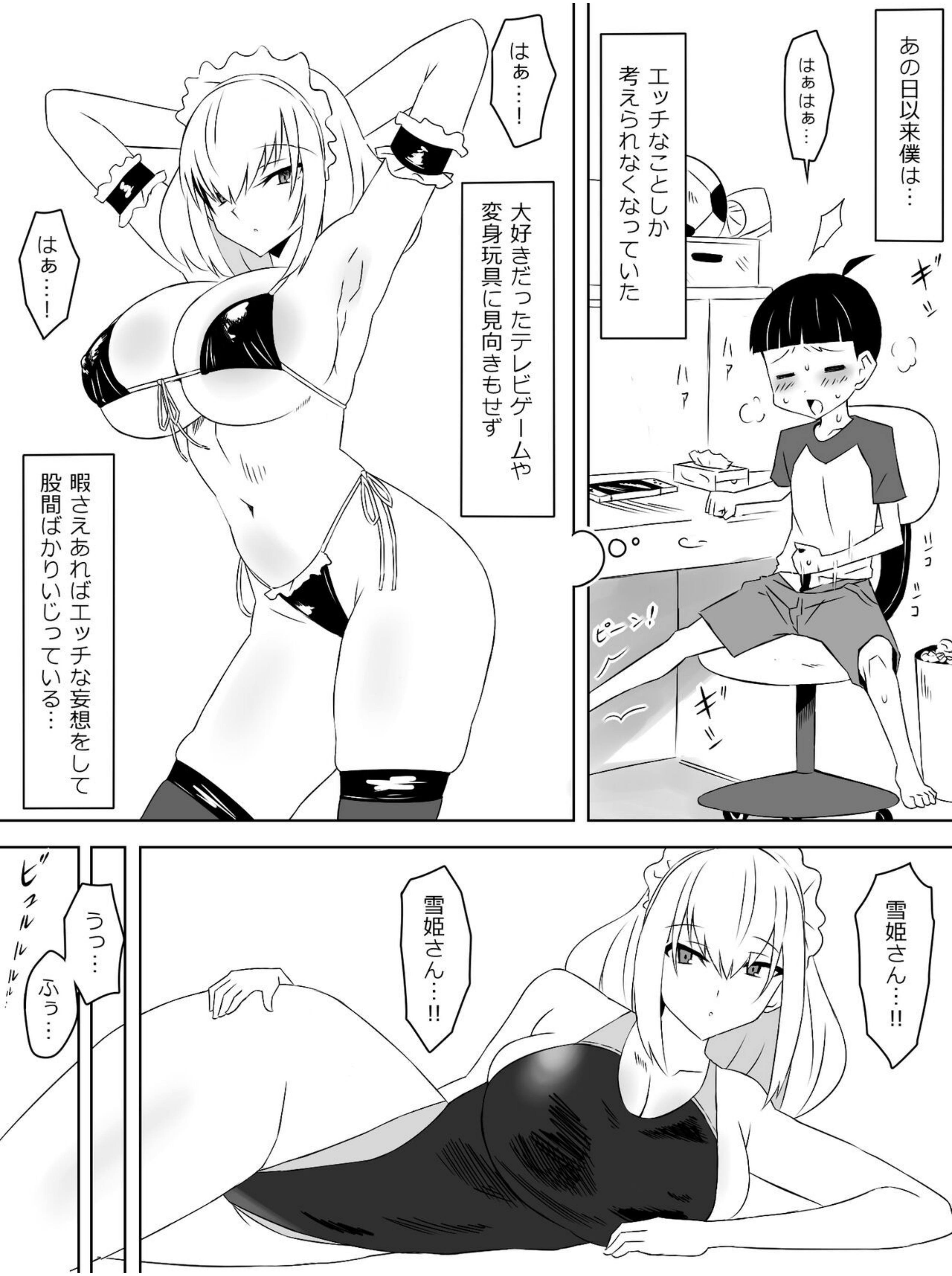
雪姫さん…!?
は…裸…!?
たぷん♥
ムチ♥
浴室ですので
ムチ♥
翔太様… いかがなさいました…?
おまた…
ドキドキドキ
ハァハァ
ピン
雪姫さんのあそこ…!
見たい…


ごめんなさい…!!
勝手にお股見ちゃいました…!!
ペコ
ペコ
ペコ
はい…!
私のお股が見たかったのですか?
畏まりました
ドキッ
え…?
あまりお時間はありませんが…
どうぞご自由にご覧下さい…
スッ…
チラ♥
……っ!!
ドックン…
ビィィィン

女の人のあそこ…
じ〜
はぁあ…!!
女の人のあそこ…!!
はぁ…!
ハァ
ハァ
あ…あそこ同士をくっつけてもいいですか?
ビクビク
ハッ
ハッ
ハッハッ
はいどうぞ
何故かは分からないけどお股同士をくっつけたくて仕方がなかった
ハァ
ハァ
カクカク
う…うう…♥
ヘコ
ヘコ
雪姫さん好き…♥
結婚…僕と結婚して…!!
ユサユサ
チュコチュコ
雪姫さん…!
……
雪姫さん…!
ヘコ
ヘコ
ヘコ

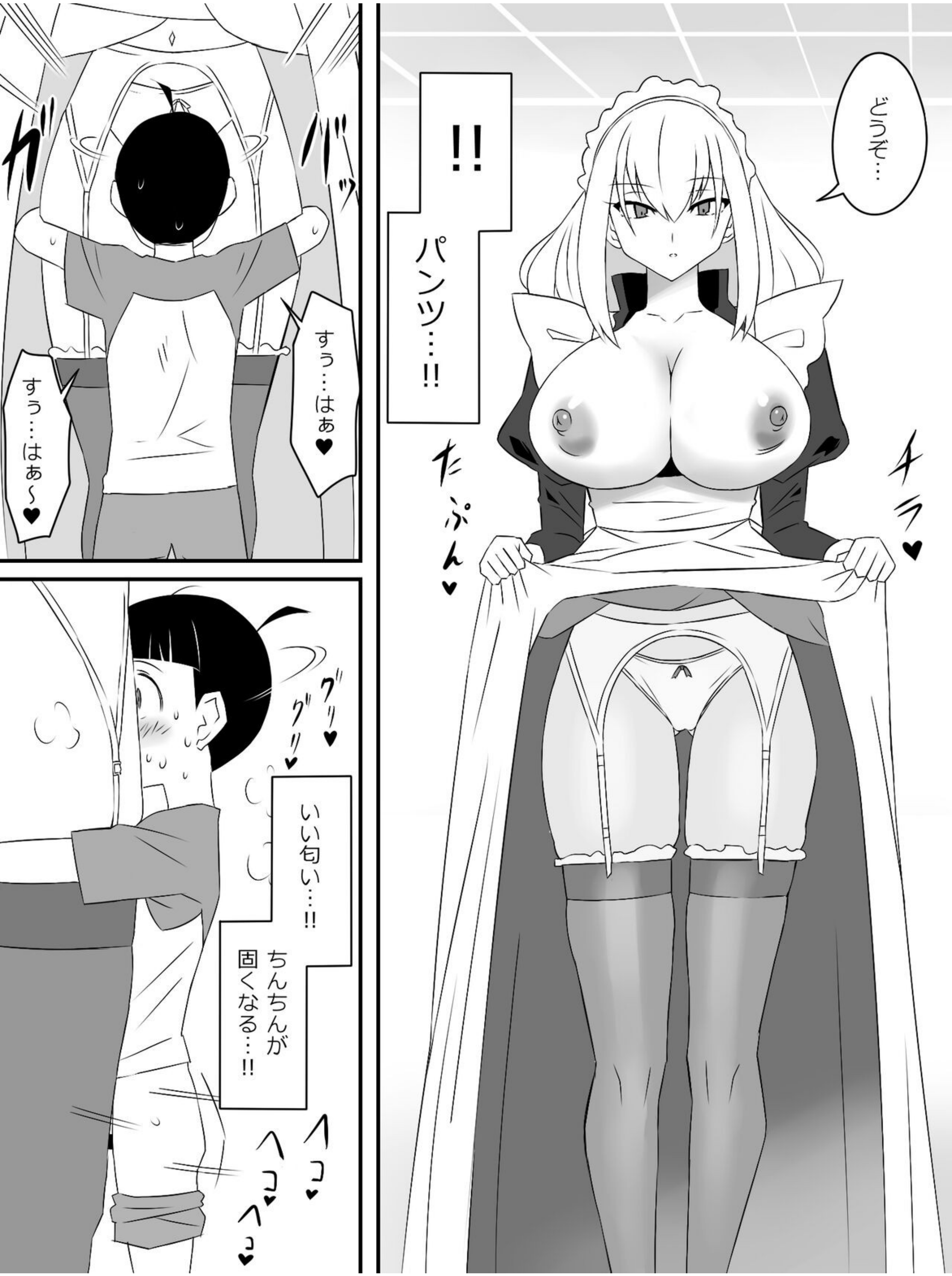
雪姫さん…
ゆき…
失礼…
え…?
ビクン♥
ワイ♥
何この感触…?
!?
クチュ♥
ニュプ♥
おぉ…
もしかして僕のちんちん…
おぉおお!?
雪姫さんの中に入っちゃってる…!?
ゾクゾク♥
ビクゥ♥
なにこれぇ…
温かくて…頭がとろける…♥


私はお嬢様に仕えている身…
はぁはぁ…!!
お気持ちには応えられませんが
ハァハァ♥
ヘコ♥
ヘコ♥
ヘコ♥
パン♥
パン♥
パン♥
パン♥
パン♥
あ…
その代わり私の処女おマンコは
お好きにお使いくださいませ
あ…
出るぅ…!!
おしっこ出ちゃうぅぅううう!!
ギュッ
どうぞ…お出しください
ニュチ♥
ニュチュ♥


あの日以来僕は…
はぁはぁ…
エッチなことしか考えられなくなっていた
ギッ
ハァ
ハァ
ピーン!
ギッ
はぁ…！
大好きだったテレビゲームや変身玩具に見向きもせず
はぁ…！
暇さえあればエッチな妄想をして股間ばかりいじっている…
雪姫さん…!!
雪姫さん…!!
うっ…
ふぅ…
ビュルルルル…

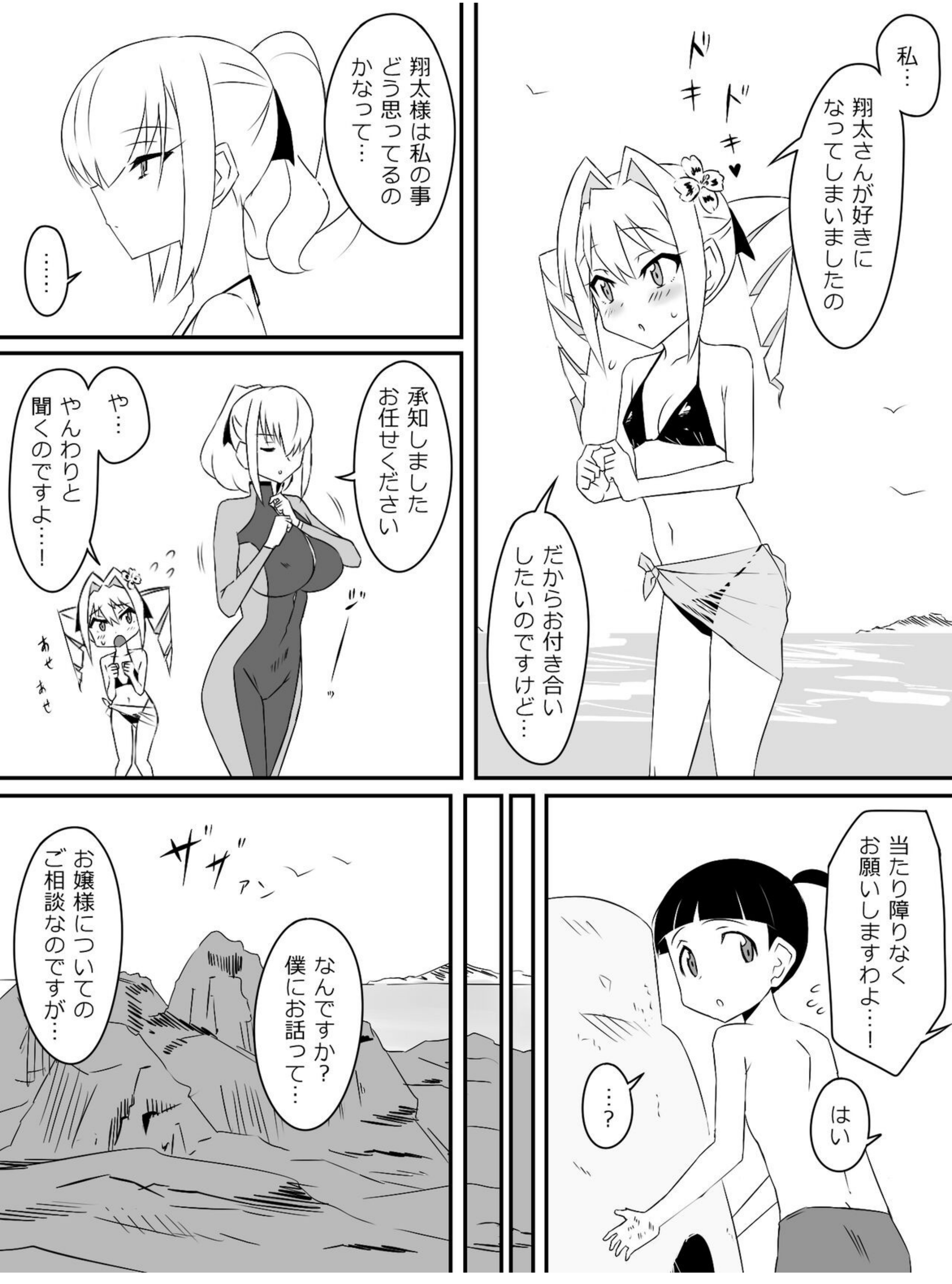
でもやっぱり
はぁはぁ…
ハァ
ハァ
自分の手じゃ満足できない…
ハァ
ムワァ
ハァ
雪姫さんのオッパイがもう一度見たい…!!
お～っほっほっほっほ!
今週も遊びに来るなんてよっぽどわたくしの家が気に入りましたのね!
お庶民にしては見る目がありますわ～♪
フフ～ン♥
豪華ちゃん嬉しそう…
なんか騙してるみたいで心が苦しいな…
ハイヤー!!ですわ!
パッカラ
パッカラ
やっぱり…
オッパイ目当てで家に遊びに来るなんて失礼だ…!
雪姫さんのお礼は断ろう――

本日のお礼です
スッ…
すぅぅうう…♥
はぁぁああ…♥
あぁ…
あぁああ…!!
スゥウウゥゥ…
グリ♥ グリ♥
やっぱり無理…！
チュパ♥ チュパ♥
大きなオッパイには勝てない…!!
れろれろ♥
チュパ♥
ふぅ！ ふぅ…！
もみ♥ もみ♥
もみ♥ もみ♥ もみ♥ もみ♥
フゥ フゥ
大人のお姉さん…！
綺麗なお姉さん…!!
ぱ…
パンツも見たいです！
畏まりました

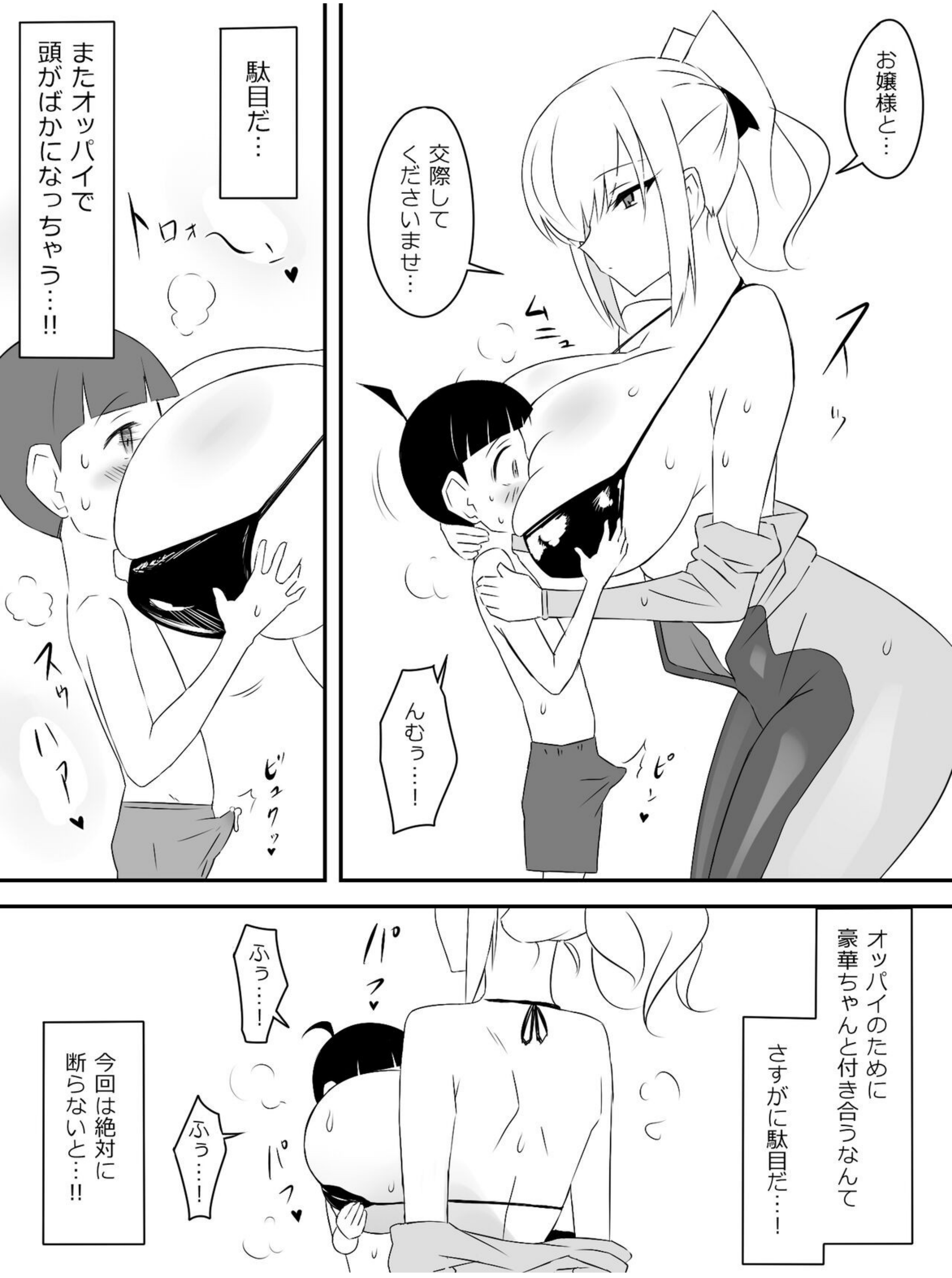

どうぞ…
!!
パンツ…!!
チラ♥
たぷん♥
ガ
バッ
すぅ…はぁ♥
すぅ…はぁ~♥
グリ♥
グリ♥
いい匂い…!!
ちんちんが固くなる…!!
ヘコ
ヘコ
ヘコ
ヘコ

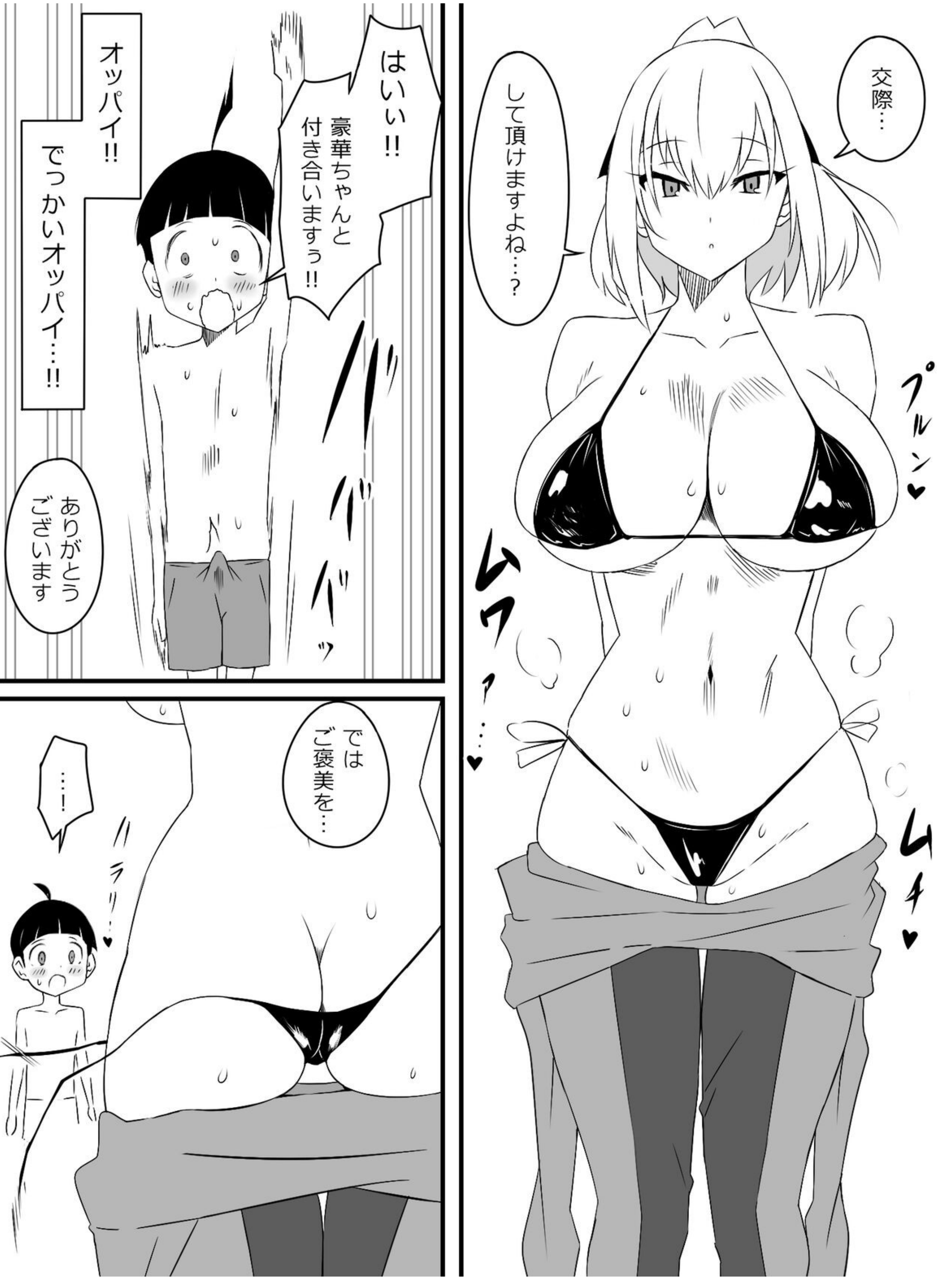
満足されたようですね…
これからも豪華様をよろしくお願いいたします
は…い…♥
結局僕は
フゥ フゥ♥
ちゅぱ…♥
大人の身体の誘惑には勝てず…
とろ〜ん♥
ちゅぱ…♥
罪悪感を感じつつも
豪華ちゃんと過ごす時間は増えていった
そして僕は理解した
ズボボォ♥
ジュルルル♥
絶対にこの快楽には逆らえないのだと…
おくちすごぃい…♥
ビクン♥

数か月後――
僕は豪華ちゃんに誘われ
南の島へやってきていた
パシャ
ザパァ
ねぇ雪姫…
!
ムワ…
プルン♥
何でしょうお嬢様
あのですね
チラ チラ…
少し相談があるのですけど…


私…
翔太さんが好きになってしまいましたの
ドキドキ♥
だからお付き合いしたいのですけど…
翔太様は私の事どう思ってるのかなって…
……
承知しましたお任せください
ズッ
や…やんわりと聞くのですよ…!
あせあせ
当たり障りなくお願いしますわよ…!
はい
…?
ザザァン
なんですか?僕にお話って…
お嬢様についてのご相談なのですが…

お嬢様は翔太様との交際を望まれております
ですので お嬢様と恋人になってくださいませ…
!?
ザザァン
え…
えぇ…!?
豪華ちゃんが僕の事…好きってこと…?
はい 何か問題でも…?
気持ちは嬉しいけど…
やっぱり僕 雪姫さんがその… 好きです…
ドキドキ
……
グイ…
ブルン♥


お嬢様と…
交際してくださいませ…
ムニュ
スイッ
んむぅ…!
駄目だ…
またオッパイで頭がばかになっちゃう…!!
トロォ〜ン♥
ビュクッ♥
オッパイのために豪華ちゃんと付き合うなんて
さすがに駄目だ…!
ふぅ…!
パフ♥
ふぅ…!
パフ♥
今回は絶対に断らないと…!!


交際…
して頂けますよね…？
プルン♥
ムワァ…♥
ムチ♥
はいぃ!!
豪華ちゃんと付き合いますぅ!!
オッパイ!!
でっかいオッパイ…!!
バッ
ありがとうございます
ではご褒美を…
ハラリ…♥
…!

翔太様は本当にオッパイがお好きですね…
好き…!!
ヘコ♥
ヘコ♥
ヘコ♥
ヘコ♥
大好き!!
雪姫さん…!
チュコ♥
雪姫さん…!!
チュコ♥
ではこういうのはどうでしょう…
え…?
え…!?
グイ
ムチ♥
僕が…
雪姫さんに仕舞われていく…!?
プルン
グイッ
ムニィ♥

いかがですか
より密着し私の身体を堪能できるかと存じます
むぐ…
何これぇ…♥
ゴソ
ゴソ
メチ…♥
たぷん♥
雪姫さんと溶け合って
一つになったみたい…♥
ムチ♥
ムワァ♥
ムチ♥
ヌル♥
クチュ♥
雪姫さんの香り…
雪姫さんの体温…
雪姫さんの心音…
ムニュ♥
グチュ♥
ムチ♥
ビクン♥
こんなの…!!
ばかになっちゃううぅ…♥
ビュルルルゥ
ゾクゥ♥
ビクゥ♥

ご満足していただけましたか…？
ムニュッ♥
ではお約束守ってくださいませ
ホカァ♥
はい…♥
トロォ～ン♥
僕の人生が…
オッパイで支配されていくぅ…
まぁ…!!
ザザァァ…
パァアア
翔太さんも同じ気持ちでしたのね！
嬉しいですわ～♥
良かったですねお嬢様…
はい…!!

こうして――
ぴと♥
両想いですわね~♥
ドキッ…♥
僕は豪華ちゃんと付き合うことになった
う…うん
数日後…
ガチャリ…
失礼します
むにゃ…?
今雪姫さんの声が聞こえたような…
ムク…
って…
本当にいる!?
じ~っ
おはようございます…翔太様
しこしこ♥
しこしこ♥
ど…どうして僕の部屋に…!?

お嬢様から住み込みで身の回りのお世話をするように命じられました
未来の旦那様に尽くすのですよ
おほぉ…♥
ブルゥン♥
ドタプン♥
ですので…朝の性処理をさせて頂いております
じ〜…
あひぃぃい…♥
ビク
パパとママは…？
ご安心を
ご両親からも了承は得ております
そうなんだ…
今後ともお嬢様と…私をよろしくお願いいたします
旦那様…

おまけの後日談（没絵の供養）

「雪姫さん好き……！」
「綺麗で…優しくて…
ずっと一緒にいたいです……！」
最近は告白しながら射精するのが
癖になってしまいました
「……」
雪姫さんは呆れているのか相変わらず
無表情で僕を見つめてきます
でもおマンコが凄く締め付けてきて
抜くときに中々ちんちんを放してくれません
—おしまい—

～あとがき～

どうもサークル影武者です
この度は「友達のメイドの大きなオッパイに誘惑されるショウタ君」
を購入していただきありがとうございます！m(__)m

初めておねショ（う）タ作品を描いてみました
規制が激しいのでこういう系は避けてきたのですが
シチュ自体は大好物だったりします

今回は抜き特化なので物語性は削ってみました
何も考えずにオカズに使っていただけると嬉しいです

今後の予定ですが「CG集をメインで描きつつサブで短編漫画を描く」
という形式で試してみようと思います

CG集は時間がかかるので漫画で息抜きさせてください(;'∀')
漫画なら色んなジャンルに挑戦しやすいので
付き合っていただけると嬉しいです

多分CG集は夢操作の最終章の前編ですね
デリヘライザーの続きでもあるので見てくれると嬉しいです

漫画は未定です
気分次第ですけどサキュバス母娘が罪なご飯を
食べるだけの話とか描きたいですね

ではまた次の作品でお会いいたしましょう～